

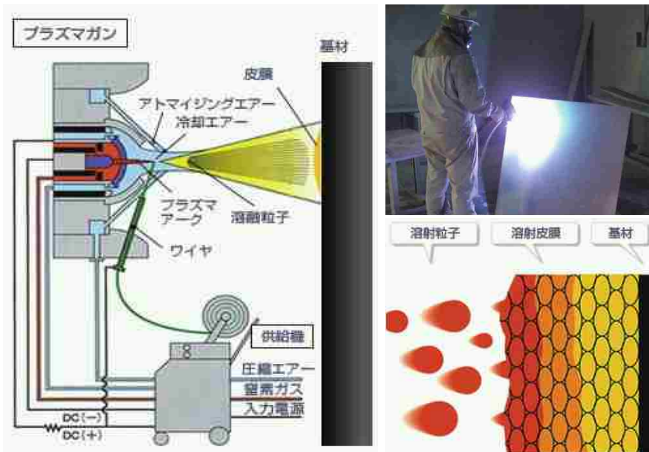
# 伊良部大橋で使用されている主な技術

## フライアッシュコンクリートの採用



アルカリ骨材反応や塩害対策を向上させる事を目的として、県内では初めて橋梁にフライアッシュコンクリートを採用した。

## AIMg 溶射の採用



主航路部の鋼橋では塗装の下地処理にAIMg 溶射を採用。溶射により、母材の腐食を遅らせる効果がある。

## ケーソン基礎の施工



伊良部島側の取付橋梁では、琉球石灰岩層の止水が困難であることから止水を要しないケーソン基礎を採用。

## 塩害に強い材料の選定



塩害対策とし、エポキシ樹脂塗装鉄筋やポリエチレンシース、塗装PCケーブルを使用。100年の耐久性を目指している。

## 工場での主航路部桁製作



主航路部は大ブロックを工場で作成することで溶接や塗装の品質を確保した。

## 円弧リブの採用



鋼管杭基礎の支持力を確保するため、先端に円弧リブを取り付け、閉塞効果の向上を図った。



## 施工状況・イベント写真

### セグメントの架設



上部工のセグメント架設は、長さ160mの架設桁を使用し977個のセグメントを架設した。

### 下部工鋼管矢板基礎の施工



下部工の鋼管矢板基礎は最深部で約25mであった。

### 主航路部主桁の輸送



主航路部の主桁は千葉県などの工場から国内最大級の台船を用いて輸送された。写真の台船の大きさは24,000tクラス。

### 主航路部主桁の一括架設



主航路部の架設は国内最大級の架設能力のあるフローティングクレーン船(4,000t吊り)で行われた。

### 第6回 エコアイランド宮古島マラソン



伊良部大橋は平成27年10月18日エコアイランド宮古島マラソン大会のコースとなった。

(一般社団法人 宮古島観光協会 写真提供)

### カギマナフラ in 宮古島2015



平成27年10月13日伊良部大橋で、世界記録更新を目指す世界フラ大会が開催され、1509人が同時にフラを踊り、世界最多の人数で同時にフラを踊るギネス世界記録を更新した。